

2016年  
10月13日  
木曜日

# 産業連携ネットワーク交流会レポート

## 『異業種参入から学ぶ6次産業化』

交流会は、農林水産省食料産業局産業連携課長 森田健児氏より、「6次産業化を進めていく上で、従来の考え方や発想では立ち行かなくなった時、新たな考え方が重要になってくる。本講演で6次産業化に対する新しい考え方などを感じ取って欲しい」という開会の挨拶から始まり、3組の事業者から、6次産業化への取組を始めたきっかけ、事業展開において直面した課題やそれを解決するための工夫などが発表された。



2016年10月13日(木)農林水産省7階講堂で開催された産業連携ネットワーク交流会には約120名が参加。講演会終了後も活発な質疑応答が行われた。



農業生産法人 株式会社クックソニア 代表取締役

芳野 幸雄 (よしの ゆきお) 氏

東京から沖縄県名護市に移住し、流通業から農家に転身。地域飲食店と連携した6次産業化で島とうがらしを使ったスパイスやカレーなど加工品を開発。また、自身の経験をもとに新規就農者をバックアップする「沖縄畑人くらぶ」を発足。「一人では決して、ここまでできなかった。多くの人とのコミュニケーションの中からアイデアが生まれた」と話す。



有限会社コスモグリーン庭好 6次産業事業部 取締役部長

伊藤 拓馬 (いとう たくま) 氏

大正2年から造園業を営む会社で、自社の雇用安定と地域貢献を理由に農業に参入。地元・浜松のうなぎの廃棄物を無料で回収し、オリジナル堆肥を開発。その堆肥を使って栽培したブランドさつまいも「うなぎいも」と加工品のプリンなどがヒット。伊藤氏は前職で外食産業を経験。人のためになる仕事をしたいという理由で環境ビジネスを学び、コスモグリーン庭好に入社した。



レッドライスカンパニー株式会社代表取締役

難波 友子 (なんば ともこ) 氏

東京農業大学時代に知り合った夫の難波尚吾さんと共に、尚吾さんの地元・岡山県総社市で「赤米」を栽培し地域の特産品にしようとする構想。6次産業化を展開するための準備として、卒業後はお互いに食品製造関係の会社でキャリアを積み30歳で就農。赤米商品の販路ではブライダル業界を開拓。「異業種からの参入で固定観念に縛られないのが良かった」と話す。

## 編集後記

福島県石川郡で果樹園を経営する大野栄峰(おのおひでたか)さん(33)は、大学卒業後、ファッションモデルをやっていたが、東日本大震災を機に家業を継ぐことを決意し、2代目の農家となった。農園では、りんご、桃、梨などを栽培し、ジャム、ジュース、フルーツティーなどの加工品を生み出している。また、果物狩りやりんごの花見、農園ビアガーデン、オーナー制度など農園を活用したアイデアも尽きず、県内生産者の果物・野菜を使ったピザを提供するキッチンカー「オラゲノ」でどこへでも飛んでいく。

農園の魅力は地域の魅力でもある。大野さんは、「農園の花見にやってきた人達が、りんごの花に包まれたあぜ道を、農園から農園へと自転車で走る姿を思い浮かべています」と話し、そこには、地域全体の魅力を伝えていきたい思いがある。2015年3月には、福島県内の若手一次生産者をつなぐ一般社団法人Cool Agriを設立。「農業を豊かに」「農業を懂れに」「農業を仕事に」をコンセプトに、大野さんはまた、新たな一歩を踏み出した。

編集長 奥野 俊志

6次産業化フリーペーパー

「第6チャンネル」vol.17 (2016年12月発行)

編集人：奥野俊志

編集・取材：河原木徹、菅野康子、浦岡伸行、石川千晶、金森真粧美

デザイン：安野真由美

制作協力：平成ソフト

第6次産業化ポータルサイト  
第6チャンネル

[www.6-ch.jp/](http://www.6-ch.jp/)

6次産業化の取組を支援するポータルサイトとして、これからも情報発信していきます!

## フリーペーパーのご案内

本誌のバックナンバーをダウンロードできます。是非ご覧ください。

▼フリーペーパーのダウンロードはこちらから  
[https://www.6-ch.jp/fp\\_contact/](https://www.6-ch.jp/fp_contact/)

▼メルマガ会員登録はこちらから  
<https://www.6-ch.jp/melmaga/>

▼第6チャンネルフェイスブック  
<https://www.facebook.com/6channel/>

▼農林水産省食料産業局フェイスブック  
<https://www.facebook.com/maff.shokusan>

■バックナンバーの印刷物をご希望の方は、第6チャンネル(Webサイト)のTOPページ「お問合せ」より、「詳細」欄に「フリーペーパー希望」とご明記の上、ご希望の号数と送付先、郵便番号をご連絡下さい。送料実費にてお送りいたします。なお、数に限りがございますので、在庫が無いバックナンバーにつきましては、印刷費、送料実費にてご提供いたしますので、ご相談下さい。

